



No.178

協議会だより

平成 30 年 3 月 25 日
発行 伊保木ぐるみ協議会
光市大字室積村 858
電 話：79-0934

「センター周辺が美しく」ご協力ありがとうございました

2 月 18 日（日）に有志 20 名で、センター周辺の竹やぶや木の伐採を実施し、海が見えるだけでなく西伊保木に通じる海岸線も見えるようになりました。

ドライブイン燈台周辺も併せてきれいにしました。

水仙も 1000 球植え、景色と花が楽しめる景勝地にしていきたいと思います。

副隊長の『さくら』も環境整備だけでなく、癒しの存在としてみんなの心をつかんでいます。

センター周辺



“さくら” もお手伝い

燈台東側



“水仙”を植え付け

Before（前）



After（後）

「資源回収」にご協力ありがとうございます

「資源回収」へのご協力ありがとうございます。

来年度も毎月第 2 月曜日に実施し、来月の回収日は 4 月 9 日（月）です。

各ごみ集積場などに掲示する“「古紙回収」について”により分別して、出してください。

先号でお知らせしたように、回収金は 協議会の活動に充てていますが、その用途について良いアイデアがありましたら、協議会役員まで提供ください。



「ふれあいポイント事業」の活動報告

伊保木ぐるみ協議会（福祉部ちょこっとお助け隊）では、市の事業である『ふれあいポイント事業』のモデルを平成 29 年 4 月から引き受けています。

ふれあいポイント事業とは・・・

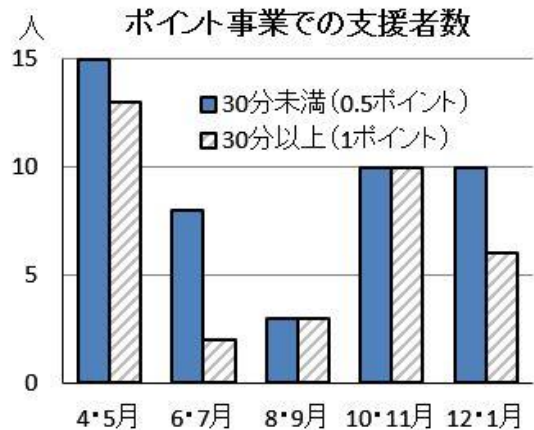
75 歳以上の高齢者夫婦の方で、“ごみ出し”や“除草”など生活の中でちょっとした困りごとがある方に対して、地域のサポーターが手助けをする体制を確立するものです。

手助けを受けた場合、予め配られている「ありがとうございますの気持ち券」をサポーターへお渡してください。

30 分未満のお手伝いで 0.5 ポイント、30 分以上のお手伝いで 1 ポイントとして、1 ポイント 100 円で換金され、伊保木ぐるみ協議会の資金として、協議会の活動の一助となります。

その他に“古紙回収、落ち葉清掃、木の剪定、サロンへのおでかけ支援、水道補修、蛍光灯の交換”などの支援をしています。

困ったことがありましたら、遠慮せずに地域のサポーターにご相談ください。



「移動販売車による買い物支援」始まる

“いおき楽々会”は、平成 23 年 10 月から光市コミュニティ交通事業で、4 自治会の有志の方がボランティアで“らくらく号”を運転し、通院や買い物などに困っている方の生活支援を実施しています。今年の 2 月末までの 6 年 5 ヶ月で 855 回運行し、2,388 名の方が利用されています。

さらに、室積地区社会福祉協議会は、小地域福祉活動強化事業として、高齢者の買い物支援について取り組み、マックスバリュ西日本山田店と協議を重ね、平成 30 年 1 月から、室積地区の 9 自治会で“移動販売車による買い物支援”を実施し、伊保木地区では、1 月 16 日（火）から開始することになりました。

両事業とも高齢化の顕著な伊保木地域にとってなくてはならない事業なので、継続して実施できるように皆さんのご利用、ご協力をお願いいたします。



室小 5 年生が作文「伊保木の方と米作り」で光市教育長賞を受賞

2月24（土）に光市民ホールで開催された光市青少年健全育成推進会議で、室積小学校 5 年生の梅光莉帆さんが、作文の部で光市教育長賞を受賞されました。

作文は、田植えや稲刈りの様子、指導農家や手伝いをした伊保木の皆さんへの感謝、自然の大切さなどが書かれています。



青少年健全育成作文・光市教育長賞

十月十日。とても良い天気恵まれたこの日、私はしおかぜの授業で伊保木へ行きまして、伊保木というのは、室積の東にある地区の名前です。私が通う室積小学校から歩いて出発し、コミュニティセンターからバスに乗って五つくらい先のバス停が伊保木地区です。私たちは、伊保木の農家の方に借りた田んぼに植えた稲の収穫に来たのです。

伊保木のバス停から細い山道をのぼって、四ヶ月ぶりに見た田ん

伊保木の方との米作り

室積小 5 年 梅光莉帆

ぼは、一面、黄金色に変わっていました。私が初めて伊保木に来たのは、六月六日。その日は、私にとつて生まれて初めての田植えでした。山に囲まれた田んぼには、水が張られていて、はだしで入ったときは、ヌメヌメしていて少し気持ち悪かったです。そこに、伊保木の方に教えていただきなが

ら、苗を一本ずつ植えました。苗は浅く植えすぎると浮かんて流されてしまい、深く植えすぎると栄養があまり届かないと教えてくださいました。ちょうど良い深さに植えるのは、むずかしかったです。

それから収かくまでの間の苗の様子は、たんの先生の話を聞いたり、写真を見せてもらったりしました。夏の暑いときに草をとったり、水の調整をしたり、伊保木の方達は、世話が大変だったと思

います。だから、稲が無事に実ったのを見たときは、とてもうれしくて感動しました。伊保木の方たちのおかげでここまで大きくなっただんだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

人生初の稲刈りでは、カマを使って稲を一たばずつ切り取り、五つをまとめて結びました。その後、まとめたものを木にかけ、天日干しにしました。と中、稲の先に丸い草のかたまりを見つけた。伊保木の方に聞くと、「力ヤネズミの巣だよ」と

言われ、びっくりしました。家に帰ってインターネットで調べてみると、意外とかわいくて、絶めつの危機にあるネズミだということが分かりました。

田植えの時も、稲刈りの時も、昨年の五年生が植えたお米のおにぎりと、伊保木の方が作ってくださったおかずがお昼ご飯でした。田んぼでみんなと食べるご飯は、最高においしかったです。

伊保木地区は、子ども数が減り、高れいの方が増えているので、だんだん田んぼが荒れ地になつてきているそうです。私たちが、少しでも役に立っているならうれしいです。

私の家には田んぼはなく、おじいちゃんやおばあちゃんも米は作っていません。伊保木の方達がいなかったら、こんな体験はできなかったと思います。力ヤネズミがいるのも、伊保木の方達が地域の自然を大切にしているからだと思いました。

豊かな自然を守り、私たちに米作りの指導をしてくださった伊保木の方達のことを、私は一生忘れません。貴重な体験を、ありがとうございました。

「協議会・老人クラブの総会とお花見会」のご案内

今年も季節は廻り春となりました。

伊保木ぐるみ協議会と老人クラブの総会およびお花見会を実施しますので、多数の方の参加をお待ちしています。

皆さまのご協力により資源回収も軌道に乗り、その「回収金」と「老人クラブ」および「いおき楽々会」のご支援により、今年のお花見会は無料招待となりました。

旧知の方と出会い、至福の一時を過ごされては如何でしょうか。

美味しいものをたくさん用意し、趣向を凝らして皆さまをお迎えしますので、ぜひ いらっしやい！ ませ。

子ヤギの“さくら”も皆さんのお越しをお待ちしています。

1. 日 時 4 月 8 日 (日)

2. 場 所 伊保木コミュニティセンター

3. スケジュール

 - 10 時 30 分 協議会総会
 - 11 時 30 分 老人クラブ総会
 - 12 時過ぎ お花見会



【らくらく号の運行時間】

第 1 便 五軒屋発： 9 時 50 分 岩屋発： 10 時 15 分

第 2 便 五軒屋発： 11 時 00 分 岩屋発： 11 時 20 分

帰りは様子を見て順次運行します。